

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービス ぶりす厚別 | | 公表日 | 2026年 4月 1日 | | |
|---------|-------------------------|--|-----|-------------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 3 | 1 | | トイレ等、一部マンションの共有設備を利用しているため、清掃状況が不衛生との回答がありました。これについては、何度もビルの管理会社とやり取りしていますが、改善されません。そのため、職員が定期的に掃除をしたりもしています。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 3 | 1 | 当事業所は職員4名と少人数で運営しており、開所から現在まで、日々の業務の中で改善点や良い点を共有しながら、全員で話し合っ PDCAを回し、より良い事業所を作り上げている状況です。個々の意見を取り入れながら運営を進めており、一人で決定しているわけではありません。今後も、職員全員が参画しやすい形で目標設定や振り返りを行い、より良い支援につなげていきたいと考えています。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 1 | 3 | 当事業所は昨年4月に開所したばかりであり、現時点では第三者委員会による外部評価を実施する段階には至っていません。今後、事業運営の状況を踏まえ、適切な時期に外部評価の導入を検討し、必要に応じて業務改善に活かしていきたいと考えています。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | | | |
| 適切 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 4 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 3 | 1 | 月間の活動プログラムは、職員全員で話し合いながら決定しており、立案段階はチームで行っています。その後、担当が決まった活動については、内容を深める作業を担当職員が行う形を取っています。今後も、チームで協力しながら活動プログラムを作成していきたいと考えています。 | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--|
| な 支 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 3 | 1 | 「集団に時間的に出来ないお子さんがいる」との回答がありましたが、当事業所では、就学児の長期休みや外出時など、小集団での活動が可能な時間帯もありますが、普段から小集団で過ごしている児童については、保護者の希望により個別支援を優先する場合があります。今後も、子どもの環境やニーズに合わせて、最適な形で支援を提供できるよう努めていきます。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 3 | 1 | | 打合せは必ず行うよう努めていますが、実施が不十分な場面もありました。現在は活動ごとの担当制を導入するなど、職員間での共有が確実にできるよう改善を進めています。今後も、連携した支援が行えるよう体制の整備を続けていきます。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 1 | | 振り返りの打合せは必ず行うよう努めていますが、朝の時間が十分に取れず不十分な時期もありました。現在は朝礼での確認に加え、個別に記載した内容を共有するなど、情報共有が確実にできるよう工夫しています。今後も、職員間での振り返りが安定して行えるよう改善を続けていきます。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 2 | 2 | まだ開所したばかりの事業所であるため、移行支援は現在要望がありません。ただし、幼稚園や保育園との連携や情報共有は行っており、お互いの施設を見学に行ったりもしているため、共有と相互理解は出来ているかと思えます。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 3 | 1 | | 地域の支援センターとの連携はありますが、スーパーバイズを受ける機会はありませんでした。今後は、そういった機会を設けて職員の実績を図るのち良いかと思えます。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | | 4 | 当事業所では、地域の保育所・幼稚園・認定こども園等と連携し、必要に応じて見学や情報交換を行っています。支援計画の作成時には、園での様子や困りごとを伺うなど、相互理解に努めています。子ども同士の交流機会は多くありませんが、職員として関係機関との連携は継続して行っています。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | | | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | 4 | | 4月開所で人数も少なかったこともあり、まだ開催はしていないが、いずれ機会を作りたいと考えている。 | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--|--|---|
| 保護者への説明等 | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 4 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 4 | | 就学の兄弟はしているが、未就学の兄弟に関しては現状、職員数が大幅に足りなくなり、安全を確保できない理由から、交流する機会を設けていない。保護者同士が交流できる場の提供については現在検討中です。今後は、参加しやすい日時や方法を考えながら、茶話会など保護者の方が交流できる機会を設けられるよう取り組んでいきたいと考えています。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | | | |
| 非常時等の対応 | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 3 | 当事業所では、子どもたちが地域の中で自然に交流できるよう、公園や公共施設、地域の店舗などを利用した外出活動を取り入れています。安全面や個人情報の観点から、地域住民を招いての大規模な行事は難しいものの、ブログやHUGアプリを通じて活動内容を発信し、地域に向けた情報提供にも努めています。今後も、子どもたちが地域社会の一員として安心して過ごせるよう、無理のない範囲で地域とのつながりを大切にしていきたいです。 | |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | | | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 4 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | | | |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 1 | 契約時に避難先や、ご家族が被災された際のイレギュラーなお迎えの方についてなどの確認もしている。また、連絡方法についても、171を使用する事などを前もってお伝えしている。 | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | | | |
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | | | | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 3 | 1 | 契約時に保護者へお伝えしている。身体拘束はしない前提であることから、個別支援計画上には記載しない旨も説明し、危機回避のためのやむを得ない際には、必ず連絡することも併せてお伝えしている。 | | |